

平成 11 年度 S G S T 第 4 回定期研究会 議事録

日 時 : 平成 11 年 10 月 19 日 (火) 16:00 ~ 18:00

場 所 : 創建

出席者 : 安藤(瀧上工業)、泉野(玉野コン)、猪瀬(IHI)、岡本(パシコン)、佐賀(IHI)、織田(瀧上工業)、貝沼(名古屋大学)、川西(豊田高専)、近藤(名城大学)、柴田(大日コン)、柴山(松尾橋梁)、武田(KTS)、古一(東洋技研コン)、牧野(玉野コンカウト)、山田(トピー工業)、古川(宮地)、水野(篠田製作所)、山田(名古屋大学)以上 18 名

1. 議事録の確認

前回の議事録を確認し、承認された。

2. 講演

1) 「骨組構造解析結果のブロック検算」(瀧上工業株式会社 安藤浩吉氏)

設計に用いられる骨組み構造解析計算はコンピューターが利用され、比較的容易に結果が得られているがその妥当性は十分照査されているとはいいがたい。骨組み構造解析結果(静的弾性解析結果)を小範囲に分け、古典的な理論式を応用した検算法を用いることで解析結果の照査をする方法を考案され、紹介された。検算法の基本的な考え方は、解析結果として得られている断面力の一部を用い、代表的な点の変位の関係式を計算し、その値が解析結果の変位と一致していれば結果は正しいと判断するものである。

2) 「技術を軽やかに、合理的に」(アジア航測株式会社 寺田和己氏)

波型鋼板をウェブとして利用した外ケーブル方式の PC 橋や、橋梁形状を円形としたトラス橋等、アジア航測株式会社にて設計された、合理的でかつ景観上も優れる橋梁構造の事例が紹介された。橋梁構造を鋼橋と PC 橋に分けて取り扱うことが多い現状に対し、「考え方を束縛している要素を点検し、その硬直した考えから抜け出し、技術を軽やかに合理的にするべきである。」と提案された。

3. 次回の研究会

日時:平成 11 年 12 月 14 日(火)

場所:名古屋大学

-
- ・ 会費納入のお願い
 - ・ 案内の E-mail 化